

小沼 さゆり 議員
（戸田の会）

録画配信

文化会館を文化芸術の入口に

Q 文化芸術は、市民の心の豊かさや地域への愛着、人とのつながりを育むものである。市民アンケートでは「興味関心がない」「興味はあるが鑑賞したいものや機会がない」との回答が多かったとのことである。市民が気軽に文化芸術に触れ、参加できる取組は。

A 文化芸術の鑑賞や参加の場所、機会の充実が課題。文化会館を活用し、文化祭、音楽祭、市展などの充実を図り、より多くの市民の参加機会を提供する。

Q ホール公演だけでなく、ロビーやホワイエでの展示、音楽とアートを組み合わせた事業など、文化会館全体を活用してはどうか。

A 色々な文化芸術に触れる機会が多くなる可能性があることや、他分野で活動する方同士のつながりも期待できる。提案を参考に、運営者と検討する。

意見 文化会館を「観る場所」から「出会い、交流し、新たな活動が生まれる場所」へ。事業と施設の魅力を高め、文化芸術の裾野を広げることを期待する。



誰もが芸術に触れられる場を



野澤 茂雅 議員
（戸田の会）

録画配信

本市の空き「市有地」の利活用

Q 新曽 168 番地等の施行者管理地や空き地などの未利用資産を利用開始まで一定期間、活用できないか。

A 土地区画整理事業地内の施行者管理地は期間限定の暫定利用を想定していない。その他、目的等を制限していない未利用地は引き続き活用の検討を進める。

意見 土地区画整理事業地を含め、事業の進捗や権利関係に支障がなく、一定期間使用予定のない土地について、期間を区切った貸付けや暫定利用の仕組みを。

中学校部活動地域展開

Q 令和9年9月からの地域クラブ体制は。

A 事業全体の運営・管理を行う「統括コーディネーター団体」を設置し、その下に「自主運営型地域クラブ」と「直営型地域クラブ」の２種類の地域クラブを設置。

意見 これまでの部活動が培ってきた教育的価値を次の時代へつなぎ、生徒の選択肢と可能性をさらに広げ、やがて地域を支える側へと育っていく。そのような未来につながる「戸田型の地域展開」の構築を。



施行者管理地 / 新曽 168・上戸田 124



浅生 和英 議員
（戸田の会）

録画配信

見えないカビの不安、対策強化へ

Q 学校体育館などの空調設備について、市民から「見えないカビへの不安の声」が寄せられた。現在、建物点検マニュアルにカビに関する衛生点検項目はない。公共施設の衛生管理や空気環境の実態を確認するとともに、喘息や呼吸器疾患などの健康被害を防ぐため、点検体制の強化や計画的な分解洗浄などを求めた。また、施設ごとに管理方法が異なる現状を指摘し、事務負担軽減も見込める全庁的な維持管理ガイドラインの整備や、公共施設全体の空調設備を効率的かつ計画的に管理する包括管理の導入を提案した。

A 公共施設では定期的な清掃や点検を実施しており、今後は建物点検マニュアルに吹き出し口の衛生状態を確認する項目を追加するなど、チェック体制の強化を検討する。また、包括管理委託については現時点で導入予定はないものの、一般的にスケールメリットが働くという利点があるため、より良い施設管理の在り方について引き続き研究していく。



空調設備点検の様子



辺見 智子 議員
（戸田の会）

録画配信

窓口短縮に伴う市民サービス維持を

Q 窓口は市民との基本的な接点であり、見直しにあたり日中多忙な方やデジタルに不慣れな方など誰一人取り残されてはならない。他自治体の先行事例では、市民サービスの低下を招かないよう工夫がなされている。維持向上の観点から伺う。

A 持続可能な行政運営や業務効率化のため、令和９年２月から１２月まで試行する。受付時間は９時から１６時３０分に変更し、水曜延長窓口および日曜窓口は原則廃止を予定。コンビニ交付やオンライン申請の普及などの効果を検証するとともに、広報紙など、あらゆる手段を用いて丁寧に周知し、非対面サービスの充実など代替手段の確保にも努める。

意見 デジタルに不慣れな方への伴走支援、各課が創出した時間で手厚い対面サービス、市民が自発的に非対面を選びたくなる利用促進など窓口の縮小にならぬよう、試行期間中で、市民の声や現場の工夫に耳を傾けて双方がメリットを実感できるよう要望する。



ご利用の際はお気をつけください



古屋 としみつ 議員
（政策 TODA）

録画配信

市内３駅のホームドア整備を前へ

Q 戸田駅・北戸田駅のホームドア整備と周知は。

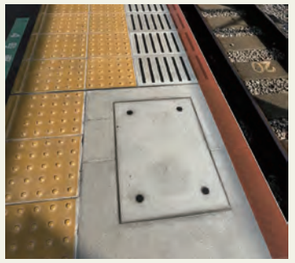
A りんかい線の車両入れ替え後、令和９年度下半期に本体を設置し、年度内の供用開始に向け準備していると聞いている。周知は明確になった段階で行う。

意見 令和９年度内の見通しや、車両入れ替えを待つ事情を今から伝えるべき。工事が進んでいないように見える市民の疑問に応えるよう情報発信を求める。

Q 戸田公園駅は設置時期が示されていない。整備の見通しと、ＪＲ東日本への働きかけは。

A 具体的な設置時期は示されていない。８月６日に市長がＪＲ東日本大宮事業本部長と直接面談し、先行する２駅に続く早期着手を要請した。

意見 ひとたび人身事故が起きれば、市民のみならずＪＲ職員にも大きな心理的負担がかかる。市長には、協議の際にＪＲとこの思いを共有し、具体的な課題や条件を確認しながら、要請から交渉へと粘り強く進め、整備の実現につなげていただきたい。



ホームドアの設置を待つ北戸田駅



河合 ゆうすけ 議員
（保守の会）

録画配信

大雨や地震災害への対応

Q ８月 13 日からの大雨警報（浸水害）の被害はいかほどで、その対応はどのようなものであったか、今年完成した北大通り雨水貯留管の状況や効果はどのようなものであったかを問う。

A レベル３大雨警報が発表され、監視体制を配備、危機管理防災課を中心に監視を実施した。雨水貯留管の状況は 25 メートルプール約 34 杯分の雨水を貯留したことで道路冠水の軽減に充分な効果があった。

Q 本市において将来、熊本地震と同規模の震災が発生した場合、いかに被害を出さないようにするのか、今後の対策について伺う。

A 災害対策本部訓練や初動対応訓練を実施し、市職員の災害対応力の習熟を図るとともに、食料や飲料水などの備蓄品の定期的な入れ替えや、防災行政無線や非常災害用井戸などの防災施設の整備を行った。今後は取り組みを継続し、各地の災害の教訓から学び防災行政を推進する。



北大通り雨水貯留管